



第71回青少年読書感想文全国コンクール

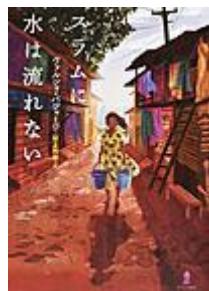
主催/(社)全国学校図書館協議会 毎日新聞社 後援/文部科学省 こども家庭庁
「子どもや若者が本に親しむ機会をつくり読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る」「より深く読書し、読書の感動を文章に表現することをおして、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う」ことを趣旨としています。
課題読書と自由読書があります。



わたしは食べるのが下手

天川 榮人/作 小峰書店

給食の時間に気持ちが悪くなった葵は、保健室で咲子に「たぶん君、会食恐怖症」と言われる。実は咲子も食に関わる悩みを抱えていた。そんな二人はイケメン栄養教諭に焚きつけられ給食改革に乗り出すことに…。



スラムに水は流れない

ヴァルシャ・バジャージ/著 村上 利佳/訳 あすなろ書房

インドの大都会ムンバイの人口の40%が住んでいるスラム。水不足が厳しくなる頃、兄サンジャイが闇の世界の秘密を知ってしまい…。

スラムに暮らす兄妹を通して、家族の絆、友情、インドの今を描く。



鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者

竹内 紘子/著 くもん出版

夫・龍蔵や家族とともに探検のようなフィールドワーク(野外調査)を進めた鳥居きみ子は、人類学の中でも昔から伝わる生活・風習・伝説などを調べる民俗学を切り開いた。初めて紹介されたきみ子の生涯を描く。

私が読んだこの1冊

毎日の朝読書が始まってから3か月余り。
お気に入りの一冊はできたでしょうか。

毎年恒例の読書のまとめを提出してください。

「私が読んだこの一冊」

しめきりは、**7月9日(水)**

図書館廊下に 昨年度の優秀作品が 展示されています。参考にしてくださいね。

千葉県も
あります
課題読書のみ

フチニュース

7月から、中央図書館に六中の生徒が描いた「ポスター」が展示されます。
中央図書館に行ったら見てくださいね。

第49回千葉県 読書感想文コンクール

課題図書

主催/千葉日報社



アナタノキモチ

保田 夏菜/作 文研出版
ハルくんには障がいがあり、人の気持ちがわからない。でも、わたしはどうだろう。本当に人の気持ちがわかっているのだろうか。



カムイの大地 北海道と松浦武四郎

泉田 もと/作 岩崎書店
北の大地を歩き、アイヌの人々とふれあい、見たものすべてを伝えようとした松浦武四郎。北海道の名付け親の知られざる人生。



彼の名はウォルター

エミリー・ロッダ/著 あすなろ書房
不気味な屋敷で、コリンが見つけた奇妙な本。描かれていたのは驚愕の真実だった。スリルあふれる謎解きサスペンス。



見えない壁だって、越えられる。クライマー小林幸一郎の挑戦

高橋うらら/文 金の星社

視力を失うという経験を乗り越えて、世界のトップにのぼりつめたクライマー小林幸一郎。クライミングの楽しさを伝える感動の実話。



森と、母と、わたしの一週間

八束 澄子/作 ポプラ社

実家から帰らない母、慣れない父との二人暮らし。最近、友だちともうまくいかない野々歩が向かったのは…。



リックとあいまいな境界線

アレックス・ジーノ/作 偕成社

恋愛に興味がわからない中学生のリック。多様な性のあり方への疑問や友だち関係の悩みを受け止めてくれたのは、課外クラブと祖父。